世界に賛美と福音を
News Letter
Vol.88
WINTER
2023
AKWM
工藤篤子ワーシップ・ミニストリーズ
https://akworship.com/
（旧、工藤篤子音楽ミニストリーズ）

シャープ
♯

工藤篤子ワーシップ・
ミニストリーズ　代表
工藤 篤子

だれでもわたしについてきたいと思うなら、自分を捨て、
日々自分の十字架を負うて、わたしに従ってきなさい。
自分の命を救おうと思う者はそれを失い、
わたしのために自分の命を失う者は、それを救うであろう。
（ルカによる福音書 9 章 23, 24 節、口語訳）

♯（シャープ）は、音楽で半音高くする時に用いられる記号です。♯は、ドイツ語ではクロイツと言い、クロイツは十字架のことです。それでバッハは、イエス様が十字架に上げられたことを表現する音に♯を付けました。いにしえのドイツの音楽教育では、まず♯記号の左上の十字を書いて、これがイエス様の十字架、そして右下にもう一つの十字を加え、これが私の（あなたの）十字架、そのようにイエス様の十字架に自分の十字架を重ねるのが♯だと説明していたそうです。

ドイツの開拓教会の伝道師として仕えていた 1997 年、私は全身の関節が炎症を起こして動けなくなりました。痛みの床の中で自分の傲慢さを示され、深い悔い改めに導かれました。そのようなある日、十字架のイエス様が心の目にあらわれ、「自分の十字架を負って私に従いなさい」という語りかけを受けたのです。その時、私の十字架とは、この関節リウマチであると思い、その苦しみを負って主に従う決心をしました。それから、私のリウマチは徐々に癒されていきました。翌年、詩篇 96 篇 2, 3 節「主に歌え。御名をほめたたえよ。日から日へと、御救いの良い知らせを告げよ。主の栄光を国々の中で語り告げよ。その奇しいわざを、すべての国々の民の中で。」（新改訳）のみことばが与えられ、賛美伝道の働きを祈るようになりました。その二年後の 2000 年、主は、「工藤篤子ワーシップ・ミニストリーズ」の設立へと導いてくださいました。

それから数年経って、私の負うべき十字架とは、自分の苦しみではなく、イエス様の十字架であったのだと理解するようになりました。つまり、私たちに救いと解放を与えてくださったイエス様の十字架を負って従い、この十字架のみわざを伝えるということでした。

ところが最近、イエス様の十字架は、私には負えないものなのだということに気付かされるようになりました。イエス様が負われた十字架は、罪なきお方が全人類の罪をその身に負い、救いと贖いのみわざを成し遂げてくださった十字架です。その十字架によって、私は罪赦され、自分の十字架を負えるようになったのです。自分の十字架とは、自分の罪、肉の欲、肉の弱さ、肉の思いを、つまり肉にある命を釘付けにする十字架。そうやって、日々自分の十字架を負い、イエス様に従うのだと理解するようになりました。なぜなら、自分の命を救おうと思う者はそれを失い、イエス様のために自分の命を失う者は、それを救うからです。

イエス様は、私が自分の十字架を負って主に従えるように、私たちがとうてい負うことができなかった十字架を負ってくださいました。それは、教会を、ご自身の花嫁として迎え入れ、ご自身と一つとしてくださるためでした。ですから、傷もしみもない花嫁となるために、私たち教会は、日々自分の十字架を負って、花婿なるキリストに恋焦がれつつ、時に火の試練を通って精錬されながら従っていきます。練り清められて純金のように美しい花嫁となるために。新しい年、イエス様の十字架に自分の十字架を重ねつつ、マラナタ！（主よ、来てください！）と呼び求めながら、己に死ぬことを通して神の命に生きることを、心から願い求めています。

# 私を平和の道具としてください ～平和の祈り～

小鳥に説教するフランチェスコ（ジョット画）

1984 年、私はスペイン留学中に、当地で出会ったアメリカ人宣教師ご夫妻を通して信仰に導かれました。御子イエスの死を通して示してくださった神の絶大な愛に触れ、高揚していた私は、「クリスチャンになった！」と周りの友人にふれまわったものです。けれども、私の伴奏をしてくれていたピアニストは疑いのまなざしで私を一瞥し、こう言いました。「ぼくにとって、本当の信仰があると唯一信じられるのは、アッシジのフランチェスコ (1182-1226) だけだ。」それを聞いて、私は、アッシジのフランチェスコとは一体どんな人かと思いました。

その数日後、偶然にもテレビで彼の伝記ドラマが数週間に亘って放映されました。12 世紀、イタリアのアッシジに生まれ、今なおキリストに最も似た生き方をしたひとりとして尊敬され、命をかけてキリストに従ったアッシジのフランチェスコの生涯に、私は深い感動を覚えました。そして、エンディング・テーマ曲と共に画面に映し出された「私を平和の道具としてください」、通称「アッシジのフランチェスコ（フランシスコ）の平和の祈り」をメモし、その祈りを毎日祈るようになりました。あの時、私もこの祈りを実行出来る者になりたいと心から思ったのです。その後、開拓伝道に向かったドイツでは、定職が見つからずに滞在ビザを取得できなかった 6 年の間、16 回も引っ越しをすることになりましたが、どこへ移っても必ず洗面台の上の壁にこの祈りを張りつけ、この祈りとともに一日を始めました。そして、スペイン語の聖歌集にこの祈祷文に付けられた賛美曲があるのを見つけてからは、伝道コンサートでもよく賛美するようになりました。

（スペイン語 Hazme un instrumento de tu paz からの私訳）

**主よ、私をあなたの平和の道具としてください**
**憎しみのあるところにはあなたの愛を**
**分裂のあるところにはあなたの赦しを**
**疑いのあるところにはあなたへの信仰を運べるように**

**主よ、私をあなたの平和の道具としてください**
**すべての人にあなたの希望を**
**暗やみのあるところにはあなたの光を**
**悲しみのあるところにはあなたにある喜びを運べるように**

**主よ、私は学びたいのです**
**慰められることよりも慰めを与えることを**
**分かってもらうことよりも**
**分かってあげることを**
**愛されることよりも愛することを**

**主よ、私をあなたの平和の道具としてください**
**あなたに赦されたゆえ**
**私は赦すことを喜びとします**
**分け与えることを通して**
**私はあなたの祝福を受け**
**己に死ぬことにより**
**あなたの命にあずかるのですから**

2018 年に日本に帰国してからは、日本語に訳し歌うようになりました。ただ、日本語にすると言語の半分も訳すことができません。そして、更に残念なことに、私が最も伝えたいと思う、最後の「己に死ぬことにより、あなたの命にあずかるのですから」の訳を、どうしてもうまくメロディーに乗せることができませんでした。そこで、福音の最も大切なメッセージである愛をテーマとし、最後は、十字架の愛を語る歌詞を付けました。


## 工藤篤子　賛美CD 好評発売中 … ご注文、お問い合わせはAKWMホームページまたは事務局まで

主よ人の望みの喜びよ
定価 1,500円（税込）

「主よ人の望みの喜びよ」「マタイ受難曲アリア」「メサイヤ・アリア」「キリストにはかえられません」「アメイジング・グレイス」「主の祈り」など、たましいの歌 12 曲。

よき力に守られて
定価 2,500円（税込）

ボンヘッファーの「よき力に守られて」を中心に、「あなたに」「神の恵み」「詩篇23篇」「ああ感謝せん」など 14 曲。

ほんとうの願い
定価 3,000円（税込）

リュート奏者、今村泰典氏の賛美曲、バッハ、カステッロ、シュッツの作品、「キリストには代えられません」「いつくしみ深き」など 22 曲。

神だけが Dios tan solo Dios
定価 2,500円（税込）

「安けさは川のごとく」「赤とんぼ」「荒城の月」「黄金のエルサレム」「私を平和の道具としてください」などライブ録音 12 曲。

カンシオン Canción
定価 2,500円（税込）

「きみは愛されるため生まれた」「とこしえに真実なお方」「救い主イエスと」「なんて美しい都」（ゴスペル）などライブ録音 14 曲。

Come To Me
定価 3,000円（税込）

「鹿のように」「安けさは川のごとく」「Via Dolorosa」「輝く日を仰ぐとき」「カドシュ」「いちわのすずめ」「アメイジング・グレイス」など 18 曲。

讃 美 Adorar
定価 1,500円（税込）

中国語、台湾語賛美を中心とした「鹿のように」「丘に立てる荒削りの」「主は今生きておられる」「耶和華祝福滿滿」「主よ人の望みの喜びよ」「鳥のうた」など 12 曲。

（日本語歌詞）

**主よ、私を平和の　道具としてください**
**憎しみには愛を　争いにゆるしを**

**主よ、私を平和の　道具としてください**
**疑いに信仰を　絶望に希望を**

**悲しみに喜びを　暗闇に光を**
**運ぶ者として　用いてください**

**主よ、私をあなたの　道具としてください**
**十字架の愛を　運ぶ器として**

**愛されるよりも　愛することを**
**学ばせてください　あなたの愛の中で**

**十字架を見上げれば**
**主の愛が分かるでしょう**
**主はそこで身をささげ　愛を注がれたから**

長らく、アッシジのフランチェスコの祈りと思っていた「平和の祈り」ですが、数年前に、この作者は不明であり、フランチェスコが書いたものではないであろうことが分かりました。この祈祷文は、1912 年、フランスのカトリックの団体が発行する月刊報告書に「ミサにおける美しい祈り」として掲載されたものです。その 2 年後に勃発した第一次世界大戦下、ローマ教皇が、この祈りをカトリック世界に呼びかけました。その後ヨーロッパのプロテスタント教会にも広がり、第二次世界大戦後は、アメリカにも知られるようになりますが、その過程で、「アッシジの聖フランチェスコの平和の祈り」というタイトルが定着していったようです。確かに、アッシジのフランチェスコなら、こう祈ったに違いないと思われる、神様の御心を知り、神様に捧げる祈りです。

世界中に広がった「平和の祈り」は、多くの作曲家たちによってメロディーが付けられ、歌われるようになりました。私が賛美するのは、フランシスコ修道会第三会（世俗に生きながらフランシスコ会の精神にのっとった規約に従う者の会）の作曲家、セバスチャン・テンプル (1928-1997) が作曲したものです。この賛美歌は、ウエストミンスター寺院で行われたダイアナ妃の葬儀で歌われ、多くの人々の感動と涙を誘いました。以来、テンプル氏の Make me a channel of your peace は、イギリスで最も愛される賛美歌のひとつとなりました。

私たちは、赦すことを通して赦しを受ける者となり（マタイ 6:14）、己に死ぬことを通してキリストの命に与りながら（ルカ 9:24）、慰められることより慰めることを、分かってもらうことより分かってあげることを、愛されることよりも愛することを学ぶようになります。それは、肉に死んで初めてキリストの命に生きるようになり、そこにこそイエス様の心が、私たちを通してあらわされるようになるからです。

そのようにして、私たちは真の平和の道具となってゆきます。容易なことではありませんが、これこそ神の御心であり、しみも傷もないキリストの花嫁となって天の御国に入れられるために、また、人々を天の御国に導くために、努力するに値するものです。イエス様は、私たちの身代わりに十字架に架かり、神との和解、つまり、神との平和を与えてくださいました。ですから、信仰の導き手であり完成者であるイエス様から目を離さないで、一切の重荷とまとわりつく罪をかなぐり捨て、自分の前に置かれている競争を、忍耐をもって走り続けながら、主の平和の道具とさせていただこうではありませんか。

※前回から連載を予定しておりました「教会の賛美の歴史」は、次号のニュースレターで (2) を掲載させていただきます。


## 賛美セミナーDVD CDも好評発売中

1. 詩篇から学ぶ賛美
2. 賛美のいけにえ・キリストの賛美
3. ロックの起源・歴史とその影響
4. いろいろなリズムとことばに即した賛美実演（野田常喜）

**賛美セミナー II**
**DVD 2 枚組**
2015年11月7日 大阪セミナー録画（テキスト付）
定価 4,000円（税込）

1. 賛美とは
2. 詩篇 51,50（悔い改めを通してささげる賛美）
3. ビート音楽の影響
4. 音楽と聖書

※内容は DVD CD 共に同じです。

**賛美セミナー I**
**DVD 2 枚組**
2013年11月4日 大阪セミナー録画（テキスト付）
定価 4,000円（税込）

**賛美セミナー I**
**CD 4 枚組**
2013年11月9日 東京セミナー録音（テキスト付）
定価 4,000円（税込）

賛美セミナー II と賛美セミナー I のアイテムを併せてご注文される場合、特別価格でお求めいただけます。


## お知らせ

「賛美セミナー」開催をご希望、あるいはご検討いただける教会・団体がございましたら、お気軽に事務局まで、ご連絡、ご相談ください。

# Schedule 工藤篤子 2023年スケジュール

## 3月 Mar.

10日㈮ 10:00~13:00~ **CLA（クリスチャン・レディース・アソシエーション）にて賛美と証し**
会場：主イエス・キリスト教会（大阪市）

## 6月 June

15日㈭ 10:00~ **JEC レディース・カンファレンス コンサートとメッセージ**
会場：堺市産業振興センター

## 7月 July

6日㈭ 14:00~16:00 **アフタヌーン サマーコンサート**
会場：古賀政男音楽博物館 けやきホール（渋谷区）
主催：活けるキリスト 一麦東京教会

## 9月 Sept.

3日㈰ 19:00~21:00 **新札幌聖書教会　30周年記念コンサート**
日本イエス・キリスト教団、大阪府柏原市

## 10月 Oct.

5日㈭ **阪神女性の集い**
会場：ルナ・ホール（芦屋市民会館大ホール）

29日㈰ 15:00~ **宝塚栄光教会　チャペル・コンサート**

## 12月 Dec.

2日㈯ **札幌聖書キリスト教会　クリスマス・コンサート**

※記載の予定以外に、定期的に賛美レッスン（個人、グループ）を行っています。ご希望の方は、事務局までお問合わせください。

# 天国を激しく奪い取る

主にあって愛する皆さま

主の御名をほめたたえます。

皆さまのお祈りとご支援に心から感謝いたします。

新しい年を迎え、今年の目標に、「バプテスマのヨハネの時から今に至るまで、天国は激しく襲われている。そして激しく襲う者たちがそれを奪い取っている。」（マタイ 11:12　口語訳）の聖句から、「天国を激しく奪い取る」を掲げました。難解な聖書箇所ですが、類似した場面のことが書かれているルカ 16:16 では、「律法と預言者とはヨハネの時までのものである。それ以来、神の国が宣べ伝えられ、人々は皆これに突入している。」とあります。「激しく襲う」の原語は、「ほとばしり出る」、「力強く到来する」とも訳すことができるそうです。その上でルカの箇所を読み合わせると、ヨハネの時から神の国が宣べ伝えられるようになって以来、人々は襲い奪い取るように神の国に突入している、つまり、天の御国は襲い奪うように激しく求めないと入れない、到来しない、得ることができない、そのような意味なのではないかと思います。

イエス様は、十字架でご自身を捧げながら、父なる神に、七つの祈りを叫ばれました。極限の苦しみの中から、父よ、彼らをお赦しください、彼らは何をしているのか分からないのです、と叫び、私たちのために、神の赦しを奪い取ってくださいました。そこには、この身をもって彼らの罪の代価を支払っているのですから、という、激しい訴えが含まれています。これが、十字架の七言の最初の叫びです。それから、更に六つの叫びをもって、

私たちを完全に贖ってくださいました。この贖いによって、信じる私たちも激しく求めてゆくなら、御国を奪い取ることができるのです。今日も明日も、我が身に、教会に、AKWM に神の国が到来し、神の国をあらわす者として、兄弟姉妹と力を合わせ、この地に神の国を拡大して行くこと。そして、イエス様が来られる時には、共に清く傷のない姿で御前に立たせていただき、御国に入れられること。私の生き方も、賛美伝道も、このために進んでゆくことが今年の目標です。

コロナ感染が始まって４年目、終息はまだまだのようですが、今年はコンサートの数が少し増えています。また、これまでニュースレターなどに掲載してきた賛美に関する原稿を整理し、本の出版の準備も始める予定です。どうぞ、一つ一つの活動を主が祝し、用いてくださいますようお祈りください。

2023 年、皆様に、主の恵みと祝福が満ち溢れますように。

工藤篤子


**工藤篤子ワーシップ・ミニストリーズ 事務局**
Atsuko Kudo Worship Ministries

AKWMの伝道活動は、皆様のお祈りと献金とご奉仕によって成り立っています。ご支援くださる皆様をこの活動の一員と考えています。この活動がますます主に用いられ、宣教が進みますように、どうぞ一員としてご参加、ご支援ください。

事務局 〒590-0027 大阪府堺市堺区榎元町5丁5番9号
TEL.090-5241-5086　FAX.050-3153-0648

**郵便振替口座**　00930-1-165955「工藤篤子ワーシップ･ミニストリーズ」
**銀行振込口座**　三菱UFJ銀行　瓦町支店（店番003）
普通預金0133752「工藤篤子ワーシップ･ミニストリーズ」

※三菱UFJ銀行にお振り込みくださる場合はお名前の表示をお願いいたします。また、事務局にご連絡いただけますなら感謝です。

**メールマガジン登録受付中！**
office@akworship.com

メルマガ購読を希望される方や、その他のご連絡などは、上記のメールアドレスまでお願いします。
メールマガジン、ニュースレターは、下記のホームページでもご覧いただけます。

Website URL
https://akworship.com/
※URLが変わりました。ブックマークの変更をお願いします。